

# いずみさの教育

NOW

問合先  
学校教育課  
☎493-2091

## 泉佐野の未来を支える「心と体の健康」 「生活習慣と授業の質で伸ばす体力」

子どもたちの健やかな成長は、私たち大人の共通の願いです。しかし、令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、府の平均値は全国平均を下回る傾向にあり、改善が求められています。府では、「第2次大阪府教育振興基本計画」を柱に、学校全体で体力向上に取り組み体制を強化していきます。

本市教育委員会では、この課題に対し具体的に2つの取組を進めています。1つ目は「体育授業の質の向上」です。子どもたちが自発的に運動を楽しめるよう、教員向けの実技研修を年5回程実施し、子どもたちが楽しく授業に取り組める指導方法の研修を行っています。2つ目に「ICTの活用」です。府の「めっちゃMORIMORIスポーツテストシステム」を活用し、結果を分析しています。さらに小学3・4年生から自分の記録をウェブで確認・管理できるシステムを活用し、低学年から運動への意欲を育む環境を

整えています。

体力向上には、「食」も欠かせません。令和7年8月19日付の日本経済新聞の記事で本市の取組である「こども朝食堂」が取り上げられ、その記事の中で、朝食を毎日食べる児童ほど学力テストの正答率が高いことが示されていました。この傾向は体力面でも表れています。令和7年度の体力調査結果の分析によると、体力合計点で比べると、朝食を「毎日食べる」層が「時々・食べない」層よりも高い平均値となっています。

朝食を摂ることでエネルギーが満ち、集中力が高まり、運動時の粘り強さや瞬発力の向上につながります。「動ける体」の土台作りは、朝の食卓と楽しい体育の授業から始まると言えるでしょう。

本市の子どもたちが心身ともにたくましく、生涯にわたる運動習慣を身につけ、健やかに成長できるように、学校と家庭が協力して、サポートしていきたいです。

## 学校園紹介



### 佐野中学校夜間学級との交流会 ～上之郷小学校～

5年生の多文化共生学習の一環として、佐野中学校夜間学級との交流会を行いました。他国から日本に来て生活をしている人たちが、どんな思いで日本語を勉強しているのか、どうして夜間中学校に通っているのかを学ぶために、まずは交流会に来ていただく学生の国について調べ学習を行いました。日本と異なる言語や文化を知ること、子どもたちはより一層興味を持ち、交流会に向けての準備を進めました。各自で知りたい



ことを事前にまとめ、司会原稿や進行スライドの作成、会場設営など積極的に行いました。交流会では、学生から「象の目を入れる」というスリランカの遊びを教えてもらい、一緒に楽しみました。また、革職人である生徒会長からは革の財布づくりを体験させてもらいました。子どもたちからは、「夜間中学校について知ることができた」「日本に住みたいと思ってもらえることがうれしい」「外国語の勉強をがんばりたい」などの感想があり、楽しく和やかな、学びの多い交流会になりました。



### 「出会い」「体験」「対話」を大切に…人権集会 ～長南中学校～

12月10日世界人権デーとその1週間の人権週間に合わせ、本校では生徒会が中心になり、12月に2回人権集会を開きます。第1回の人権集会では、生徒会が人権週間（月間）について話し、第2回では、これまでの人権学習を振り返り、それぞれの学年が舞台発表します。



劇のシナリオ作成から始まり、どんなことを学んできたのか、その学びからどのような気づきがあったのか、自分たちの行動にどのような変化をもたらしたのかなど、振り返ることで、より学びが深まるとともに、仲間と協力することで、集団としても成長を見せてくれています。

部落問題学習をはじめとした人権学習では「出会い」を大切に、障害理解や多様な性についての学習では当事者との出会いと交流を通して学習を進めています。

キャリア教育としての高校訪問、職業体験では実際に高校や事業所の協力を得て、実施しています。平和学習では沖縄への修学旅行で、実際に現地を訪れます。今までの学びから「ドリームマップ」を作成し、自分たちの未来を考えています。

地域のみなさんの協力をいただきながら、今後も「出会い」「体験」「対話」を大切に学習を進めていきます。

